

地域医療構想調整会議の議事概要 報告書

会議の実施日時	平成29年5月16日 19:00~20:00 平成29年度 第1回
議題1 (二次保健医療圏の見直し検討結果について)	
<p>資料1により事務局から説明があり、次期保健医療計画においても現行の二次保健医療圏で検討していくこととした。</p> <p>○ 質問、意見等なし</p>	
議題2 (平成28年度病床機能報告の結果について)	
<p>資料2により事務局から説明があり、このデータを基に、医療機能の分化と連携の推進について、本調整会議で引き続き協議を行っていくこととした。</p> <p>○ 調査結果に対する補足</p> <ul style="list-style-type: none">・広島赤十字・原爆病院は工事中のため、ここに報告が上がっていない。細かい数値を持ち合わせていないが、高度急性期が480、急性期が50ぐらい増えるだろうと思っている。2020年も似たような数字は出るであろうと思っている。(委員)	
議題3 (平成29年度病床機能分化・連携促進基盤整備事業について)	
<p>資料3により事務局から説明があり、広島圏域で回復期病床は不足しているため、基金活用の意向のあった長崎病院及び日比野病院の回復期への転換計画が妥当なものと確認した。</p> <p>○ 質問、意見等なし</p>	
議題4 (その他)	
<p>資料4により事務局から地域医療構想調整会議における病院部会の設置について提案があり、本調整会議としては全病院による協議の場として病院部会を設置して、安佐北区以北と安佐南区以南の圏域に分けて協議を行い、その結果は本調整会議に諮る方針で進めることとした。</p> <p>また、部会の会長及び副会長の選任は、会長一任とした。</p> <p>○ 南部・北部の病院部会の設置について</p> <ul style="list-style-type: none">・先日、県医師会の病院部会でも部会で話があったが、県全体の中で広島圏域が、非常に数が多いので、なかなか調整が難しいだろうなという意見が出ていた。私の場合は、へき地医療支援機構とかで関わっているが、広島県の北西部の中山間地域では、安佐市民病院が1つの拠点となっている。安佐医師会が安佐北区と安佐南区の両方にかかっているが、医療機能の分担の観点から、程よい2つに分けるのも、機能的な面で良いのではないかという話があった。(委員)・安佐市民病院の置かれている地理的な条件を考えると、デルタ地区の他の医療機関とは少し違う。へき地医療も担っており、当院のある北部の交通網とか医療資源を考えても、デルタ地区の病院と一緒に病院の機能を考えるというのは、少し無理があると考えている。(委員)・以前、二次保健医療圏を考えると、広島二次保健医療圏は非常に広く、北部の過疎地と南部の都市部の状況は非常に異なっているので、サブ医療圏として考えれば良いという話をさせていただいた。二次保健医療圏は現状のままになったが、北部と南部の条件が異なり、その対処が違う所で、別々の、	

患者の流れもあるので、考える会があってもいいではないかと思う。(委員)

- ・既に安佐医師会でもサブ医療圏の問題などで、安佐南・北を変えようという問題は思っており、安佐南・北医師会も、一応それぞれ活動している。そういう中で、交通網や地理的な条件で、安佐南区は旧市内との接点が非常に大きく、市民の流れもそういう形が多くなっており、こういうくくりの方が現実に近いのかなというふうに思う。安佐医師会は安佐南・北の集合体であり、安佐医師会としての活動は今後も続くが、病院部会としては、こういう形で検討していくのは非常にいいと思う。(委員)
- ・大きく考えて、デルタ地区と中山間地区とを一緒にまとめて検討するのは無理があり、この提案に特に異存はない。(委員)

○ 病院部会における協議の進め方について

- ・病院部会を分けることに異論はないが、病院の数を見ると広島圏域が 86 あって、安佐北区と安芸高田市、安芸太田町、北広島町を抜いた広島南部が 70 以上になると思うが、それが全員集まる協議会というのを南部に作るという意味で良いのか。全病院を集めるというイメージなのかどうか、ちょっとよく分からないので教えていただきたい。(委員)

【回答】

全ての医療機関、病院が集まって協議をするという場が必要だと思っている。ただ、そこに全ての病院、医療機関が集まるというよりは、例えば疾病別とか事業別で、より深まった議論をしていただくような、今からさまざまな工夫をしていきたいと思っている。

全体で集まる中で枠組みをまず作り、例えば疾病別とかの形で、実質的に具体の議論をしていただく。さらに、広島圏域の場合は分科会のようなものが必要かなと考えているところである。(事務局)

- ・南部に 70 ぐらい病院があるときに、その全部が集まる場も 1 つあるが、その中を少しまた分けてという意味でよいか。(委員)

【回答】

そのような形が、実質的な協議を進める大きな方法だと思っている。(事務局)